

【第41回全国高等学校空手道選抜大会出場】

【第2回神戸甲北高等学校・東灘高等学校定期戦】

空手道部が全国選抜大会に出場しました。当初は3月末に宮城県仙台市で行われる予定でしたが、地震の影響で延期となり、場所を東京都の日本空手道会館に移し、4月21日から開催されました。本校からは女子個人組手に3年2組の田畑楓音（たばたかのん）さん、女子団体形に3年6組富松生悠（とみまつみゆう）さん、3年7組飛田愛良（ひだあいら）さん、2年5組岩本希咲（いわもときさき）さん、2年2組の横山結衣（よこやまゆい）さんが出場しました。結果は、個人組手が2回戦、団体形は第2ラウンドで敗退となりましたが、5人ともこの経験を次に生かす気持ちを強く持ち、特に3年生は高校生活最後の総体に向けて、「去年は個人組手2位だったので今年は1位をとり、団体も優勝する」（田畑）、「組手の個人と団体、形の個人と団体すべてに優勝を目指す」（富松）、「これまでの反省を生かし、団体形で夙川を倒して優勝する」（飛田）と意気込みを語ってくれました。これまでの思いを込めて、総体での活躍を期待しています!!

また、4月22日には、神戸甲北高校と東灘高校の運動部による第2回定期戦を実施しました。午前中は野球、午後はメイン競技の女子バスケットボールの試合を全校応援で行いました。最終的にこれまでの競技結果も合わせて、東灘高校6勝、神戸甲北高校4勝で、東灘高校が総合優勝を収めました。特に午後からの女子バスケットボールは、勝った学校が総合優勝を収めることになり、白熱した試合が行われました。応援はコロナ対策で拍手のみでしたが、自然発生的に応援でも両校が対抗する場面も見られ、どちらの学校も選手と応援生徒が一つになって勝利を目指す一体感が生まれていました。神戸甲北高校と東灘高校は同じ一つの学校として創立しており、縁の深い学校です。その学校同士が切磋琢磨しお互いの交流が生まれる定期戦が実施できたことは、両校生徒にとって価値あることで、印象深い行事としてこれからも続けられることを願っています。勝利を収めた部の皆さん、よく頑張りました。また、残念ながら勝利できなかった部の皆さん、負けから学ぶこともたくさんあります。次に生かしましょう。そして、一生懸命応援してくれた生徒の皆さん、お疲れ様でした。ありがとう。

